

第14回日本がんリハビリテーション学会学術集会

プログラム

[1日目]

2月 28日 (土)

1日目 - 2月28日(土)
第1会場 / 2階 (メインホールA)

開会式

11:50~12:00

第14回日本がんリハビリテーション学会学術集会大会長
埼玉医科大学病院 リハビリテーション科・リハビリテーションセンター
篠田 裕介

会長講演

12:00~12:30

がん口コモ～がん患者の運動器管理の重要性～

座長：三木 恵美（関西医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科）
講師：篠田 裕介（埼玉医科大学病院 リハビリテーション科・リハビリテーションセンター）

基調講演

12:40~13:40

がんのリハビリテーション診療の現状と展望～本学会(JASCAR)の目指すもの～

座長：杉浦 英志（春日井整形あさひ病院）
講師：辻 哲也（慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室）

シンポジウム 1 がんに関わる脳の諸問題のマネジメント

13:50~15:20

座長 | 櫻井 卓郎（国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室）
田沼 明（順天堂大学医学部附属静岡病院 リハビリテーション科）

S1-1 脳転移治療の基本:画像所見と治療適応

高柳 俊作（埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科）

S1-2 リハビリテーション科医の立場からみたがん関連脳卒中

丸山 元（埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科）

S1-3 脳の諸問題に対するPTの役割、課題、工夫～造血幹細胞移植患者を中心に～

市川 雄大（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 リハビリテーション部）

S1-4 がん患者の認知機能障害と社会復帰/療養支援—作業療法士の役割—

梅崎 成子（東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

S1-5 転移性脳腫瘍患者に対する言語聴覚士(ST)の関わりと工夫

小島 一宏（慶應義塾大学病院 リハビリテーション科）

S1-6 脳腫瘍患者・家族支援における看護の役割と多職種との連携

堀川 真由弥（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 看護部）

1日目 – 2月28日(土)
第1会場 / 2階 (メインホールA)

教育講演 1 **15:30~16:30**

がんサバイバーに対する運動療法:エビデンスから実臨床へ

座長：明崎 祐輝（高知リハビリテーション専門職大学 理学療法学専攻）

講師：福島 卓矢（関西医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科）

教育講演 2 **16:40~17:40**

がんリハビリテーションに携わる方々に知って頂きたい、泌尿器癌の最新治療

座長：杉原 進介（国立病院機構四国がんセンター骨軟部腫瘍整形外科・リハビリテーション科）

講師：中川 徹（帝京大学医学部 泌尿器科学講座）

教育講演 3 **17:50~18:50**

ベッドサイドの診察からランダム化比較試験が完遂するまでの道のり

座長：岩瀬 哲（埼玉医科大学病院 緩和医療科）

講師：石木 寛人（国立がん研究センター中央病院 緩和医療科）

1日目 – 2月28日(土)
第2会場 / 2階 (202中会議室)

一般演題1 消化器癌・肺癌

12:00~12:50

座長 | 高木 敏之 (埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション部)

O1-1 胃がん患者の術前指導の有無と呼吸器合併症の関連性について

椿 敬太 (社会医療法人愛仁会高槻病院 リハビリテーションセンター)

O1-2 食道癌患者における術前化学療法中のプレハビリテーションと術後運動耐容能の関連

遠山 栄介 (田上病院 リハビリテーション科)

O1-3 食道癌術前補助化学療法中に歩数管理を行い運動耐容能が改善した一例

小倉 典子 (浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

O1-4 食道癌術前補助化学療法群と非施行群における入院中の骨格筋量と身体機能の比較

井上 由佳 (富山県立中央病院 リハビリテーション科)

O1-5 肺癌患者における術前四肢骨格筋量および呼吸筋量が術後運動耐容能に与える影響

木戸 孝史 (株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション部)

O1-6 肺癌患者における術後の6分間歩行試験後のSpO₂低下と予後への関連

浅水 俊輔 (亀田総合病院 リハビリテーション部)

最新ガイドラインレクチャー 第1部

13:50~15:20

座長 | 宮越 浩一 (亀田総合病院 リハビリテーション科)

井上 順一朗 (神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

総 論

宮越 浩一 (亀田総合病院 リハビリテーション科)

乳がん・婦人科がん

村岡 香織 (独立行政法人国立病院機構埼玉病院 リハビリテーション科)

泌尿器科がん

森下 慎一郎 (福島県立医科大学保健科学部)

鈴木 克喜 (静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション室)

新野 捨美 (埼玉医科大学病院 リハビリテーション科)

血液腫瘍

井上 順一朗 (神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

進行がん・末期がん

大森 まいこ (大井中央病院 副院長)

宮田 知恵子 (国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 リハビリテーション科)

1日目 – 2月28日(土)
第2会場 / 2階 (202中会議室)

一般演題2 骨転移

15:30~16:30

座長 | 小柳 広高 (埼玉県立がんセンター リハビリテーション科)

O2-1 骨転移患者のリハビリテーション研究における評価介入ギャップ:スコーピングレビュー

阿瀬 寛幸 (順天堂大学大学院 医学研究科 リハビリテーション医学)

O2-2 脊椎不安定性のある脊椎骨転移患者に対するリハビリテーションの検討

松森 圭司 (信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

O2-3 当院における骨転移診療チーム介入の後方視的検討

高山 将史 (くまもと森都総合病院 医療技術部 リハビリテーション科)

O2-4 転移性骨腫瘍による大腿骨切迫骨折患者ならびに病的骨折発生患者の特徴

毛呂 駿臣 (群馬大学大学院医学系研究科 整形外科学)

O2-5 骨転移を含む外来がんサバイバーへの非監視下エクササイズプログラムの安全性と有用性

五木田 茶舞 (埼玉県立がんセンター 整形外科)

O2-6 骨転移キャンサーボードを読み解く-がんリハビリテーションとがん口コモの観点から-

松山 太祐 (帝京大学医学部 整形外科学講座)

O2-7 乳がん骨転移患者の退院時ADLと関連する因子

木山 こなつ (埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション部)

一般演題3 乳癌・膵臓癌

16:40~17:30

座長 | 國澤 洋介 (埼玉医科大学保健学部理学療法学科)

O3-1 乳がん術後における全身ECW/TBWの上昇に関連する身体部位の検討

山田 大河 (愛知医科大学病院 リハビリテーション部)

O3-2 生活習慣病を併存するTNBC術後患者に対する行動変容に向けた運動・栄養療法の実践

池田 龍司 (東京慈恵会医科大学附属病院 リハビリテーション科)

O3-3 乳がん患者における術後の上肢機能障害の改善はボディイメージの向上に寄与するか?

水田 万裕 (神戸大学医学部附属病院 国際がん医療・研究センター 医療技術室 リハビリテーション部門)

O3-4 膵臓切除術後患者の術後身体活動量が身体機能に及ぼす影響

辻榮 洋紀 (手稲済仁会病院 リハビリテーション部)

O3-5 膵頭十二指腸切除術後に胃排泄遅延を発症し離床意欲が低下した一症例

北中 孝治 (社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会富田林病院 リハビリテーション科)

O3-6 膵切除と下腿切断を同時施行した症例に呼吸理学療法で呼吸器合併症の予防に努めた一例

早崎 温貴 (社会医療法人敬和会 大分岡病院 リハビリテーション部)

1日目 – 2月28日(土)
第2会場 / 2階 (202中会議室)

シンポジウム 2
がん患者のQOLを考える～QOL向上のための取り組みと評価指標～

17:40~19:00

座長 | 村岡 香織 (独立行政法人国立病院機構埼玉病院 リハビリテーション科)

阿部 恭子 (東京医療保健大学 千葉看護学部 臨床看護学)

S2-1 がん患者QOLを再構築する理学療法の可能性

添田 遼 (鶴巻温泉病院 リハビリテーション部)

S2-2 がん患者のQOL向上を目指した作業療法—IADL・就労への対応

田尻 寿子 (静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション室)

S2-3 がん患者の QOL 向上を目指した看護－各種有害事象への対応

佐藤 菜保子 (福島県立医科大学 看護学部 成人・老年看護学部門)

S2-4 がん患者の代表的なQOL評価と活用の仕方

鶴川 俊洋 (鹿児島市立病院 リハビリテーション部)

1日目 – 2月28日(土)
第3会場 / 2階 (201中会議室)

一般演題4 頭頸部・脳腫瘍

12:00~12:50

座長 | 小林 肇 (日本医療科学大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻)

O4-1 下咽頭喉頭頸部食道摘出術を施行し経過良好であった高齢者2例

辻 知恵子 (国立がん研究センター 中央病院 リハビリテーション室)

O4-2 頸部郭清術後の上肢機能障害に対する慣性センサーを用いた動作解析

小泉 浩平 (埼玉県立大学 保健医療福祉学研究科)

O4-3 頭頸部腫瘍における術式別の上肢機能経過

大木原 徹也 (埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション部)

O4-4 脳転移を伴う進行期食道癌症例に対する作業療法介入の経験

水村 翔 (埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション部)

O4-5 意味のある作業を通じた自己効力感の再構築-脳腫瘍術後AYA世代女性への作業療法-

星野 裕亮 (獨協医科大学埼玉医療センター リハビリテーション科)

O4-6 左頭頂葉腫瘍により失語症を認めた症例の社会復帰に向けた取り組み

荒井 光明 (獨協医科大学埼玉医療センター リハビリテーション科)

一般演題5 嘸下・言語

13:00~13:35

座長 | 滝沢 友里 (自治医科大学附属さいたま医療センター リハビリテーション部)

O5-1 当院における喉頭全摘出術後患者に対する多職種連携について

山本 亮輔 (聖隸浜松病院 リハビリテーション部)

O5-2 長期挿管より気管切開に至りカニューレの段階的な変更から経口摂取が確立した一例

谷津 潤一 (獨協医科大学埼玉医療センター リハビリテーション科)

O5-3 頸部悪性リンパ腫により重度嘔下障害を來したが、経口摂取が可能となった1例

中村 嵩 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 腫瘍・血液内科)

O5-4 右頭頂葉腫瘍覚醒下手術における読字課題の有効性

海津 伶 (埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科)

1日目 – 2月28日(土)
第3会場 / 2階 (201中会議室)

一般演題6 退院支援・多職種

14:20~15:20

座長 | 國友 淳子 (埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部)

O6-1 多職種が捉えるがん患者の転倒の特徴 –テキストマイニングを用いた内容分析–

油野 規代 (福井医療大学 保健医療学部 看護学科)

O6-2 がん専門病院における作業療法士の配置と臨床状況の調査 –アンケート調査の開示–

結城 士 (神奈川県立がんセンター リハビリテーション科)

O6-3 若年進行がん、胸椎転移による両下肢不全麻痺症例の在宅復帰へ向けた多角的介入

渡辺 典子 (国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室)

O6-4 疲労と向き合いながら復職を果たしたAYA世代のユーイング肉腫症例

田代 愛奈 (島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

O6-5 多発骨転移後に自宅退院希望が持ちにくい症例に生活行為向上マネジメントを用いた一例

伊藤 敦子 (相生会 福岡みらい病院 リハビリテーション科)

O6-6 初回介入時より長期に渡ってADLが維持されている骨髄異形成症候群の1例

小澤 香奈 (埼玉医科大学病院 リハビリテーションセンター)

O6-7 高齢がん患者に対するADOCを用いたSDMIによる理学療法介入事例

小山 裕隆 (大阪鉄道病院 リハビリテーション室)

一般演題7 栄養・高齢者

15:30~16:20

座長 | 増島 麻里子 (千葉大学大学院看護学研究院先端実践看護学研究部門 高度実践看護学講座)

O7-1 肝胆膵がん患者に対する栄養評価を含む体力測定会の取り組み

鈴木 慎 (東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座)

O7-2 高齢大腸癌患者の術後身体機能低下予測におけるG8の有用性の検討

中神 孝幸 (浜松医療センターリハビリテーション技術科)

O7-3 超高齢がん患者に対して多角的アプローチを行い、術後合併症なく経過した一例

船津 文香 (社会医療法人天神会新古賀病院 リハビリテーション課)

O7-4 がん治療後1年以上経過した整形外科通院高齢がんサバイバーの運動機能・筋機能特性

石井 瞬 (医療法人福郎会 道ノ尾みやた整形外科 リハビリテーション科)

O7-5 周術期管理におけるNST及びリハビリテーション介入が奏功した転移性腰椎腫瘍の一例

高嶋 彩夏 (群馬大学医学部附属病院看護部/整形外科病棟)

O7-6 在宅運動療法と栄養療法により骨格筋量および身体機能の改善を認めた食道癌術後症例

高木 敏之 (埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション部)

1日目 – 2月28日(土)
第3会場 / 2階 (201中会議室)

一般演題8 造血器

16:40~17:30

座長 | 大木 孝裕 (東京大学医学部附属病院 リハビリテーション科)

O8-1 血液腫瘍患者の経時的な身体機能変化について

中浜 聰 (北見赤十字病院 医療技術部 リハビリテーション科)

O8-2 悪性リンパ腫高齢患者におけるQOL水準別の身体機能とADL

小藤 大樹 (京都桂病院 リハビリテーションセンター)

O8-3 血液内科患者のSPPB評価による群別介入の妥当性の検討と疾患特性の分析

上新 渉 (関東労災病院 中央リハビリテーション部)

O8-4 高齢血液がん患者における治療開始前後の認知機能変化と関連因子の検討

富樫 将平 (独立行政法人国立病院機構広島西医療センター リハビリテーション科)

O8-5 キャッスルマン病にびまん性大細胞型B細胞リンパ腫を併発した症例の理学療法の経験

岡島 庸介 (山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

O8-6 MDS/MPN-RS-TからAMLに転化した症例における段階的理学療法介入の効果

若原 鳩 (埼玉医科大学病院 リハビリテーションセンター)

一般演題9 骨軟部腫瘍

17:50~18:50

座長 | 五木田 茶舞 (埼玉県立がんセンター 整形外科)

O9-1 悪性軟部腫瘍に対する術後理学療法の介入状況についての後方視的調査

明庭 圭吾 (国立病院機構 北海道がんセンター リハビリテーション科)

O9-2 大腿四頭筋を広範切除した腫瘍用人工膝関節置換術後症例に対する理学療法

水野 祐基 (亀田総合病院 リハビリテーション室)

O9-3 骨盤骨肉腫による骨盤半截術後に補高靴を用いた理学療法にて早期歩行を獲得した一例

水口 瑛斗 (東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

O9-4 Hip transposition再建術後に高い生活満足度が得られた1例

山田 智教 (国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室)

O9-5 跖骨ユーディング肉腫により下腿切断に至った小児の1例

松島 優衣 (群馬大学整形外科)

O9-6 指列切断を行った右環指明細胞肉腫の一例

倉澤 友子 (公益財団法人がん研究会がん研有明病院 リハビリテーション部)

O9-7 橋骨神経麻痺を呈し長期抗がん剤治療後に復職を目指したユーディング肉腫患者への関わり

村田 紘吏 (旭川医科大学病院 リハビリテーション部)

第14回日本がんリハビリテーション学会学術集会

プログラム

[2日目]

3月 1日（日）

2日目 – 3月1日(日)
第1会場 / 2階 (メインホールA)

教育講演 4

9:50~10:50

胸部食道がんに関連するがんリハビリテーションの現状と課題

座長：吉田 雅博（愛知県がんセンター リハビリテーション科）

講師：佐藤 弘（埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科）

教育講演 5

11:00~12:00

5つのガイドラインから読み解く、がん患者さんの精神・心理ケア

座長：佐浦 隆一（大阪医科大学 医学部 総合医学講座 リハビリテーション医学教室）

講師：藤澤 大介（国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部）

総 会

12:10~12:40

ランチョンセミナー 1 共催 | 株式会社 テクノ高槻

13:00~14:00

在宅でのリンパ浮腫ケアにおけるPLD導入の方法と運用のポイント

座長：辻 哲也（慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室）

講師：三宅 一正（社会医療法人光生病院 先端リンパ浮腫治療センター）

シンポジウム 3

14:20~16:05

急性期病院退院後のがん患者を支えるために～在宅支援、就労について考える～

座長 | 杉浦 英志（春日井整形あさひ病院）

北原 エリ子（順天堂大学医学部附属順天堂医院 リハビリテーション室）

S3-1 がん患者の就労阻害因子－骨転移患者の就労支援について考える－

澤田 良子（神戸大学大学院医学研究科 整形外科学）

S3-2 チームで支える、がん患者への就労支援～がん専門病院の実践から～

坂本 はと恵（国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 サポートティブケアセンター）

S3-3 退院後のがん患者を支えるために～企業における治療と仕事の両立支援の実際～

高橋 美紗（戸田建設株式会社 人事統轄部・健康支援室）

S3-4 病院から地域へつなぐ医療～全人的ケアとチーム医療で支える“移行期ケア”～

新野 捩美（埼玉医科大学病院 リハビリテーション科・緩和医療科）

S3-5 令和時代における在宅医の役割～患者中心の医療の先～

横山 太郎（在宅・緩和クリニック 横山医院）

S3-6 在宅がん患者に対する訪問リハビリテーションの実践と課題

細谷 未里衣（ひさご訪問看護リハビリステーション）

S3-7 独居時のADL自立てスピリチュアルペインが緩和した終末期対麻痺患者の一症例

宮部 拓也（モードケア株式会社 つむぐ訪問看護ステーション）

2日目 – 3月1日(日)
第1会場 / 2階 (メインホールA)

優秀演題

16:15~16:45

座長 | 幸田 剣 (和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座・みらい医療推進センター 兼務)

高倉 保幸 (埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科)

EP-1 頭頸部癌高齢者における術前社会的フレイル評価法の検討-牧迫指標・山田指標の比較-

三浦 裕幸 (弘前大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

EP-2 消化がん患者における術後の抑うつ発症は退院時の身体的QOL低下と関連する

鎌田 夏未 (日本医科大学千葉北総病院 リハビリテーション科)

EP-3 化学療法加療中の血液がん患者におけるロコモティブシンドローム評価の有用性

橋本 成矢 (久留米大学病院 リハビリテーション部)

閉会式

16:45~17:00

2日目 – 3月1日(日)
第2会場 / 2階 (202中会議室)

日本骨転移研究会(JASMets)合同シンポジウム
がん口コモ ~骨転移患者の機能予後と安静度の考え方~
共催 | 慶應義塾大学 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

9:20~10:50

座長 | 高木 辰哉 (順天堂大学緩和医療学研究室・整形外科)

祝 広香 (慶應義塾大学病院 リハビリテーション科)

JAS-1 骨転移患者の機能向上のために知っておきたい骨転移診療のエッセンス

佐藤 信吾 (東京科学大学病院 がん先端治療部・緩和ケア科・整形外科)

JAS-2 骨転移に対する放射線治療

中村 直樹 (聖マリアンナ医科大学 放射線治療科)

JAS-3 脊椎転移の安静度、および手術適応と機能予後

大島 和也 (社会医療法人大阪国際メディカル&サイエンスセンター

大阪けいさつ病院 脊椎・脊髄センター/整形外科)

JAS-4 四肢骨転移の集学的マネジメント

山口 さやか (慶應義塾大学 先進運動器疾患治療学寄付研究講座)

JAS-5 骨転移診療における理学療法士の「想像」と「創造」

中平 有 (東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

JAS-6 骨転移診療における看護師の役割について

福田 正道 (天理大学 医療学部 看護学科)

一般演題10 終末期

11:00~12:00

座長 | 宮川 瑞代 (埼玉県立がんセンター 看護部)

O10-1 急性期病院におけるBSC期脳頭部癌患者への作業療法介入による生活支援の意義

上妻 由依 (獨協医科大学埼玉医療センター リハビリテーション科)

O10-2 肺腺癌の進行により使用したオピオイドを離脱し自宅退院を目指した症例

山田 竜雅 (医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 リハビリテーションセンター)

O10-3 リハビリテーションによるADL改善が家族の不安軽減と在宅退院実現に寄与した一症例

田中 友貴 (社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院 リハビリテーション科)

O10-4 せん妄を呈した去勢抵抗性前立腺癌患者の訪問リハビリテーションの関わり

上山 淳 (指定訪問看護アットリハ常盤台 リハビリテーション科)

O10-5 緩和ケア病棟のリハビリテーションが死亡直前の歩行能力に与える影響:後方視的研究

岡本 涼太郎 (市立芦屋病院 リハビリテーション科)

O10-6 当院の独居である終末期がん患者の退院支援に関する後方視的検討

藤井 洋有 (公立藤岡総合病院リハビリテーション室)

O10-7 自宅での穏やかな看取りの経験

梅澤 達也 (医療法人循和会朝霞中央クリニック訪問リハビリテーション)

2日目 – 3月1日(日)
第2会場 / 2階 (202中会議室)

ランチョンセミナー 2 共催 | インターリハ株式会社

13:00~14:00

irAEとしての神経・筋障害におけるリハビリテーション診療の役割

座長：酒井 良忠（神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科）

講師：土方 奈奈子（慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室）

最新ガイドラインレクチャー 第2部

14:20~15:50

座長 | 鶴川 俊洋（鹿児島市立病院 リハビリテーション部）

立松 典篤（名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻

予防・リハビリテーション科学創生理学療法学講座）

肺がん

酒井 良忠（神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科）

消化器がん

幸田 剣（和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座）

頭頸部がん

小島 一宏（慶應義塾大学病院 リハビリテーション科）

鶴川 俊洋（鹿児島市立病院 リハビリテーション部）

脳腫瘍

西山 一成（岩手医科大学リハビリテーション医学講座）

小島 一宏（慶應義塾大学病院 リハビリテーション科）

骨軟部腫瘍

塚本 真治（奈良県立医科大学 整形外科）

前田 恭子（埼玉医科大学病院 リハビリテーション科）

2日目 – 3月1日(日)
第3会場 / 2階 (201中会議室)

一般演題11 がん全般

9:50~10:30

座長 | 古澤 義人 (順天堂大学江東高齢者医療センター リハビリテーション科)

O11-1 免疫関連有害事象として重症筋無力症を生じた症例に対するリハビリテーション治療経験

中雄 裕美子 (群馬大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

O11-2 抑うつや食事摂取量低下により離床に難渋した消化器重複癌患者への理学療法の経験

深川 理生 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 リハビリテーション部)

O11-3 腫瘍循環器患者における外来心臓リハビリテーションとの連携

加藤 洋志 (昭和医科大学藤が丘病院 リハビリテーション室)

O11-4 血液がん患者における身体機能を指標とした急性心毒性の発現の予測能に関する検討

安田 済人 (関西電力病院 リハビリテーション部)

O11-5 初診時原発不明癌として紹介された患者に対するリハビリテーション介入の現状と課題

小柳 広高 (埼玉県立がんセンター リハビリテーション科)

シンポジウム 4

10:40~12:00

がん患者の摂食嚥下障害と栄養管理の実際～多職種の視点から～

座長 | 井口 はるひ (東京大学医学部附属病院 リハビリテーション科)

安藤 牧子 (慶應義塾大学病院 リハビリテーション科)

S4-1 がんリハビリテーションと栄養管理

田沼 明 (順天堂大学医学部附属静岡病院 リハビリテーション科)

S4-2 がん患者の口腔機能低下症

山田 有佳 (慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室)

S4-3 がん患者の摂食嚥下障害と栄養管理の実際 ~言語聴覚士の立場から~

須藤 奈津子 (地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター リハビリテーション技術科)

S4-4 がん患者の栄養管理と多職種との関わり

高木 久美 (公益財団法人 がん研究会 有明病院 栄養管理部)

2日目 – 3月1日(日)
第3会場 / 2階 (201中会議室)

一般演題12 術前評価

14:20~15:10

座長 | 尼子 雅敏 (防衛医科大学校 リハビリテーション科)

O12-1 腫瘍手術患者における術前身体活動量と術後合併症との関連:系統的レビューとメタ分析

柳澤 卓也 (星城大学 リハビリテーション学部)

O12-2 がん治療関連アウトカムに対する運動療法の効果:スコーピングレビューによる検討

福島 卓矢 (関西医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科)

O12-3 大腸がん術後早期における筋量・筋質変化に及ぼす体水分の影響

堅山 佳美 (岡山大学医学病院 総合リハビリテーション部)

O12-4 術前サルコペニアが消化器がん術後入院期間に与える影響

池田 啓也 (埼玉県立がんセンター リハビリテーション科)

O12-5 消化器がん患者における術前サルコペニアと健康関連QOLの関連性の検討

渡邊 優 (社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院 リハビリテーション課)

O12-6 75歳以上消化器がん患者の術前サルコペニアと身体機能

山崎 康司 (愛知県がんセンター リハビリテーション部)